

福島基署発 0414 第 3 号
令和 2 年 4 月 14 日

一般社団法人福島労働基準協会
会長 殿

福島労働基準監督署長



労働災害防止対策の徹底について（周知要請）

労働基準行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 2 年に入り、別添 1 のとおり当署管内で死亡労働災害が 4 件*発生しており、極めて憂慮すべき状況となっております。

今後、死亡労働災害を防止するために災害防止対策の徹底が重要と考え、当署において別紙のリーフレット「STOP！労働災害」を作成いたしました。

つきましては、貴団体におかれましては、こうした厳しい状況について御理解いただき、貴団体の会員事業場に別添 1 の「福島労働基準監督署管内の死亡災害発生状況」及び別紙のリーフレットを周知くださいますようお願いいたします。

※調査中の事案を含みます。

STOP！労働災害

— 労働災害防止対策の徹底を！！ —

令和2年1月以降、福島労働基準監督署管内では、安全な作業手順を確認せずに作業を行ったことが原因の一つと思われる死亡労働災害が多発しています。

そこで、以下の労働災害防止対策例を参考にして、作業開始前に安全に作業を行うための作業手順を確認してから作業を行うようお願いします。

労働災害防止対策例

◎ ツールボックスミーティング

作業開始前や作業内容の変更時に、職場のリーダー（監督者、職長等）を中心に以下の内容を話し合っ、全員が災害を防止するために必要な事柄を理解してから作業を始めてください。

特に、日々同じ業務を行っている場合でも、知っているだろう・理解しているだろうとは思わず、労働災害防止のために繰り返し確認してください。

なお、作業手順書やリスクアセスメントの結果を見ながら行ったり、実際の作業場所で使用する機械設備等を見ながら実施するとより効果的です。

ステップ1 作業場所、機械設備の種類等を確認します

※できるだけ具体的に確認してください。

【例】今日使う機械は…、高所作業は…、作業場所の状況（立木、コンクリート等）…、近くで動いている危険な機械は…等

ステップ2 段取り、分担を確認します

【例】今日の作業の流れは…、誰がどの作業を行うか…等

ステップ3 災害防止のポイントを話し合います

【例】作業中の労働者に近づく時に声掛けをしないと激突される、動いている機械には近寄ると挟まれる、機械に乗って運転するとき周囲の状況を確認しないと激突する、開き止めを使用しないで三脚脚立に上がると不安定でバランスを崩して墜落する…等

ステップ4 行動目標を決めます

※災害防止のポイントのうち、リスクが一番高い労働災害を防止するために必要な行動目標を決めてください。

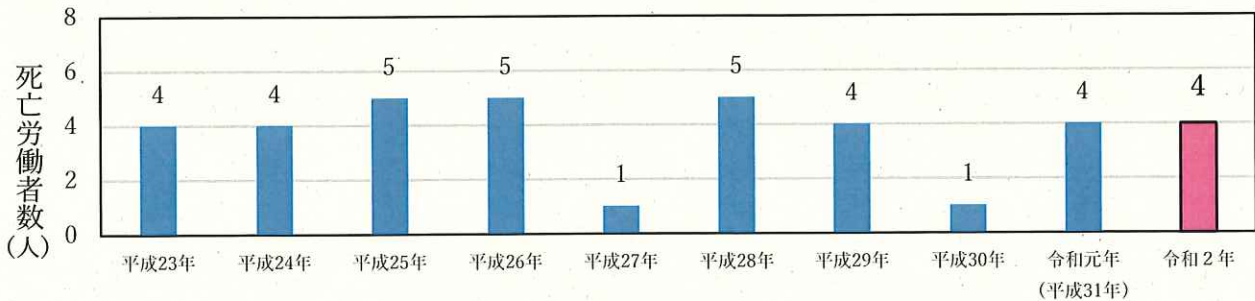
【例】…を必ずする！、…をしない！等

ツールボックスミーティングの結果を現場や休憩所等に掲示して確認しながら、落ち着いて、安全に作業を行ってください



福島労働基準監督署管内の死亡災害発生状況（令和2年4月13日現在）

発生日	災害発生状況	略図
2月29日	被災者が指示を仰ぐため、ごみ片付け作業中の労働者に近付いた。ごみ片付け作業中の労働者が、振り向くことなく右手を振り上げて指示しようとしたところ、近くまで来ていた被災者の顎に当たり、後方に倒れて後頭部をアスファルトの地面に激突し、死亡した。	<p>被災者 アスファルト地面 ゴミ箱</p>
3月24日	被災者は客先で、作業通路にある油圧ポンプの修繕作業を担当していたが、何らかの理由で炉窯の下部にいた。 別の労働者が被災者の存在に気付かず、炉窯を傾動したため、炉窯に固定していた防護金網のフレームも回転し、被災者は回転した防護金網のフレームと炉窯支持用柱との間に挟まれて、頸部を圧迫し死亡した。	<p>炉窯 防護金網のフレームが回転した 被災者 炉窯支持用柱 油圧ポンプ</p>
3月31日	被災者は果樹園において、桃の木と桃の木の間をスピードスプレーヤー（自走式薬剤噴霧機）を運転して薬剤噴霧する作業を行っていたところ、運転操作を誤って、桃の木の枝に激突し、桃の木の枝と運転席に挟まれて胸部圧迫で死亡した。	<p>スピードスプレーヤー（自走式薬剤噴霧機）の走行方向 被災者 桃の木 桃の木 スピードスプレーヤー（自走式薬剤噴霧機） 桃の木</p>
4月13日	被災者は、三脚脚立に上がって庭木の剪定作業をしていたところ、脚立の脚部が滑り、バランスを崩して地面に墜落して頭部外傷により死亡した。	<p>庭木 三脚脚立 被災者</p>



福島労働基準監督署管内の年別死亡労働者数の推移（令和2年の件数は4月13日現在）

【災害防止のポイント】

◎作業開始前に、当日の作業内容、災害防止のポイントを作業員全員で確認（ツールボックスミーティング、危険予知活動等）して、労働災害防止対策を確実に実施してください。